

かさま 社協だより

No.34



編集・発行 2017.12.28

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原 3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp URL http://www.kasama-syakyo.jp/



羽梨山神社でクイズに答える子ども達 (岩間西部地区)

撮影 畠山

も く じ

- ① 第67回茨城県社会福祉大会 2
- ② 岩間西部地区社協を設立・自立相談支援事業・ちょっといい話 3
- ③ 「サロンいけのべ」・介護者応援「ほっとタイム」 4
- ④ 三妻地区(常総市)社協来訪・ハーモニーせせらぎ 5
- ⑤ ボランティアセンターだより 6~7
- ⑥ お知らせ 8



この広報誌は共同募金の配分金を受けています。

市内のボランティア2団体と 個人9人が表彰される

11月8日(水)常総市地域交流センター(豊田城)で、第67回茨城県社会福祉大会が開催されました。
オープニング・アトラクションとして、とんだばやし(旧石下町の本石下、新石下で古くから夏の風物詩として行われているお囃子)や、放送作家のWマコト氏によるコミュニケーションを題材にした記念講演がありました。
式典では県内各地の功労者の顕彰が行われました。
本市関係者を紹介します
(順不同・敬称略)

- 太田 寛子 笠間市社会福祉協議会評議員
- 社会福祉協議会・社会福祉施設・社会福祉団体の職員
- 木村 哲之 笠間陽だまり館
- 成田 美智代 かさまグリーンハウス
- 矢口 勝博 笠間市社会福祉協議会
- 佐竹 百合子
- 鈴木 美佐代
- ボランティア
学校支援ボランティア
自立更生者
- 石川 恵美



**茨城県社会福祉協議会
会長表彰**
社会福祉協議会・社会福祉施設・社会福祉団体の役員

茨城県知事表彰

社会福祉施設職員
鈴木 有美 大沢保育園
社会福祉協議会功労者
笠間市シルバーリハビリ体操指導士会岩間支部
社会福祉自立更生者
大崎 法子

岩間西部地区社協を設立 11/5 地元の歴史を親子で勉強

運営委員長 生駒 敏文

震災前から設立に向けて話し合いが行われてきた岩間西部地区社会福祉協議会が、昨年12月12日に設立され、設立総会を7月8日、仲通り公民館で開催しました。
今年度の計画は、高齢者支援、こどもたちへの支援、三世代ふれあい事業を二本柱に進めて行くことになりました。
高齢者支援としては、各地区に、サロンをつくる運動を進めます。



子ども支援事業としては、11月5日(日)に、地元の世界史や伝え話を親子で勉強して、次世代につなげようとい

う取り組みを体験学習館分校で行いました。

上郷地区は、人々が狩猟民族の時代から住み着いたと言われている所なので、沢山の史跡や伝え話が残っています。
当日は、岩間歴史懇話会の光野、川崎、萩野谷さんをお招きして、上郷の伝え話を物語にした紙芝居を見て、光野さんのお話を聞きました。
その後全員で羽梨山神社まで歩き、先ほど勉強した羽梨山神社についてのクイズをしました。正解した人は自分の好きなお菓子を選びました。

普賢院、朝日観音堂を見学し、それぞれの場所にちなんだクイズを出し、ここでもお菓子のプレゼントをしました。

岩間さんごの屋敷跡にも行き、分校に戻ってからは、地元で採れた野菜と米で作ったカレーライスを、参加者50人みんなで食べました。

自然の中をみんなで歩き、子どもたちの生き生きとした姿を見ることができました。
この事業は毎年の恒例事業にする予定です。

記念講演 放送作家 Wマコト氏(元 吉本芸人) 演題 『人を輝かせる、喜ばせるコミュニケーション』



式典に先立ち、一時間にわたって行われた記念講演を、誌面の関係から印象に残った部分の概要を報告します。
講演は、有名芸人が実践しているコミュニケーション術を紹介するという形式で進められました。

例えば、明石家さんまさん流の相槌術では、相手が言いたい事(聞いてほしい事)を「〇〇ですかー」と返答する。相槌ひとつで、相手を喜ばせる事が出来る。コミュニケーションの不満足は、自分の話を聞いてもらえない事で、相槌を打って話しを聞いてあげる。
これをコミュニケーションの『愛植』と言う。
我々の現場(吉本興業)では、二流は、声に耳を傾けない。一流は、声に耳を傾ける。

一流は、声に耳と心を傾ける。超一流は、声なき声に目と耳と心を傾ける。
松本人志さん流の承認術は、「〇〇さんは、□□がステキ」と相手を褒め合う。人が笑顔になる。
これをコミュニケーションの『笑認』と言う。
究極のコミュニケーション術として、「ならばグラント花月で「一番多い忘れ物は何か」の質問に、参加者は「入歯」とか「子ども」などの答えがあったが、解答は「杖」が一番多い。
笑うと何故か元気になって杖を忘れて帰ってしまうとの事です。
西川きよしさんは、挨拶を武器に吉本興業のトップに上り詰めた。
挨拶は、自ら先に言い、それを継続する事が大切です。挨拶の語源で、挨拶は「心を開く」、挨拶は「相手に近づく」。挨拶は心を開いた状態で相手に近づく。「私はあなたに心を開きます」。
ダチョウ倶楽部の上島竜兵さんが「熱湯風呂」に入ると、一番大切にしていることは、「お湯加減」。

講師紹介 Wマコト(中山真・中原誠)
吉本総合芸能学院NSC(ニュー・スター・クリエイション)の出身で、吉本興業の劇場を中心に漫才活動、ユニバーサルスタジオジャパンにてMC活動(マスターオブセレモニー=司会者)などを経て、放送作家に転身。
放送作家としては、テレビやラジオ、CMなどの企画・構成を手掛け、その他イベントやライブのMC、ラジオパーソナリティも務める。
また、日本初の漫才式セミナー講師として活動し、「笑い」を活用したコミュニケーション術の第一人者として全国の病院・企業・学校などで講演・研修を年間250回以上行っている。

本番前にスタッフと綿密な打ち合わせを行い、44℃を保っている。
熱くてもヌルくてもダメで44℃で一番パフォーマンスが発揮出来るとの事。
笑福亭鶴瓶さんは、仕事でもプライベートでも常に「ご機嫌」を保って、話しやすい雰囲気を作っています。
22時間30分、これは人生を80年とした時(70万時間)、笑っている時間を学者が導き出したもの。笑いが少ない人は認められた時、又良い事をした(された)時に笑顔になる。
笑う門には福来たる。(内桶)

自立相談支援事業 ひとりて悩まずいっしょに考えてみませんか

生活・仕事・健康・お金のことで困っていることはありませんか。たとえば

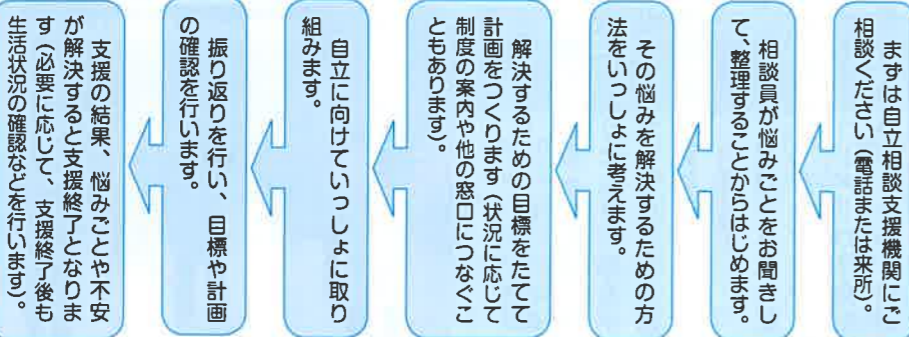
- 家賃を払えない
- 収入が不安定
- なかなか仕事が見つからない
- 家族がひきこもっている
- 病気で働けない
- など、悩みや困っていることはひとりひとりちがいがいます。相談員がいっしょに考え、解決に向けてお手伝いいたします。窓口での相談だけではなく、訪問での相談にも対応いたします。

ご本人やご家族だけでなく、まわりの方からのご相談もお受けしております。

あなたのまわりで悩みや困りごとを抱えている方がいたら、窓口や相談先を伝えていただけませんか。
ひとりて悩まずに、まずはお話を聴かせてください。

相談先 笠間市社会福祉協議会 生活支援グループ
住所 笠間市美原3-2-11
電話番号 0296-177-0730

相談の流れ



ちよっといひ話

巷に溢れる「トクホ」や「機能性表示食品」だけでなく、日々テレビ等で色々な食品が健康に良いとされています。なぜこのような状況なのか？
ある食品を例にとると、科学的・医学的に研究自体は健全でも、対象の研究資金の提供が、消費者の印象を偏らしてしまう原因につながっていることがあります。
つまり、企業等の提供資金が豊富な研究は多く行われる傾向があり、その研究成果は商品化され、メディアのスポンサーとなることで取りあげられることが多くなるのです。
たった一つの食品だけが病を治し健康に寄与はしません。過大なストレスを抱えず適度な運動と十分な睡眠をとり、加工食品をなるべく避けたバランスの良い食生活が、やはり唯一の健康法ではないでしょうか。
(入江)

「サロンいけのべ」
ふるさとにキタの音色を届けて
社協池野辺支部

アコースティックライブが10月16日(月)池野辺公民館で開催された。ラ・ミッシュは地元出身の2人組で10年前から活動している。出演を依頼したのが「サロンいけのべ」で地域のコミュニティの拠点である。



と行事が計画されていて、ライブ当日、テーブルの上には、杜協ポランティアの手作りのおにぎり・天ぷら・みそ汁・漬物を用意されていた。最後に坂本九の「上を向いて歩こう」を歌った。

少子高齢化が進み、地域社会のつながりが薄れてしまった。公民館を「たまり場」として活動できないか話し合われ、3年前に「サロンいけのべ」を立ち上げた。

1年目は「お茶でもどうぞ」と始まったが、「お昼も食べたいね」の声に200円いただし昼食を出すようになった。

女性の参加が多く、鹿島会が行っている、グラウンドゴルフに来ている男性に呼びかけると、ひとりふたりと顔を出してくれるようになった。

今年度は、市の「介護予防日常生活支援総合事業」の「ふれあいサロン」の支援を受け活動している。

月1回年12回、昼食をいただいでのおしゃべり会、敬老会の手伝い、ライブ、運動会

介護者応援「ほっとタイム」
軽い体操と歌で楽しいひとときを
歌の力を介護へ

11月8日(水)、地域交流センターでも「トモア」で、笠間市社協主催の介護者応援の催しが開かれました。この催しは、地域で介護に携わっておられる方々の、日頃の疲れをほぐす目的で、講師の早川千文(まちづくり出前講座講師)先生を招いて行われました。



早川先生は、軽い体操と歌(童謡・日本の歌)で、約1時間30分にわたり熱心に指導してくれました。

◆軽い体操

先生は「歌を歌う時の姿勢は、肩を張り、背中をまっすぐにします。呼吸は腹式呼吸を行います」と前置きしてから、ボイストレーニング(発声練習)にはいりました。

最初は、腹を軟らかくする横隔膜の運動として「ハア、ハア、ハア、ハア、ハア」を5回行いました。続いて口を拡げる運動や表情を豊かにするトレーニングも行いました。

ボイストレーニングが終わる頃には、豊かで力強い声が出せるようになり、体もポカポカと熱気を帯び、歌を歌う準備が整いました。

◆明るく笑顔で歌う

後半は、童謡や日本の歌のレッスンで、先生はピアノやテープレコーダーの伴奏を活用して、ひとりひとりの間を回りながら、丁寧に繰り返し教えていきました。



紅葉したもみじを想像しながら笑顔で合唱

三妻地区(常総市)社協来訪
社協六戸支部と交流会

11月19日(日)友部社会福祉会館において、常総市社会福祉協議会の三妻地区16人と事務局職員が訪れ、友部地区社協の六戸支部員7人が参加して交流会が行われました。

三妻地区の代表の方から「平成27年9月の関東・東北豪雨では、我々の地域が被害にありました。大変お世話になりました」とのあいさつで始まりました。

続いて、六戸支部長から支部事業の活動を映像を使っての説明がありましたので紹介します。

六戸支部は、六戸小学校校区にあり、活動の拠点である支部会館を持ち、支部委員(区



三妻地区代表のあいさつ

- ・手づくり会実施
- ・視察研修……10月に実施
- ・こぶしの会(男性18人で活動)
- ・グラウンドゴルフ大会実施
- ・ししどサロンの開催
- ・自然観察会の実施
- ・配食サービスへの協力
- ・広報委員会
- ・「六戸支部だより」年3回発行(発行部数2300部)

今後に向けて支部長は「地域との理解を深め、出会いを大切に、知恵を出して笑



交流会を終えて皆さんと一緒に

顔で活動する支部社協にした」と、話されました。

◆三妻地区からの質問

Q 地区懇談会で、二セ電話詐欺防止対策として高齢者にはどのような注意をー

A 現役警察官の講義を分かりやすく説明していただき、注意を呼びかけています。

Q 配食はいくらで提供をー

A 野菜やお米などの寄付がありますので、今のところ100円をいただいています。

交流会は和やかな雰囲気でしたし、記念に皆さんと写真が作られた小物などを買い求めた散会となりました。

「ハーモニースセラギ」代表 柴沼 満夫

「ハーモニースセラギ」は、市内の介護施設及び医療施設、地域の集会所などから、ハーモニカ演奏の依頼を受け、ひと時の憩いと娯楽、潤いをお届けするボランティアグループです。

平成19年秋に発足し演奏活動を行ってきましたが、嬉しいことに年ごとに依頼が増え、昨年は100回を超える訪問演奏を行いました。今年目は、発足10年の節目に当たり、11月19日(日)に友部公民館で「10周年記念ハーモニカコンサート」を開催しました。当日は大勢の皆様方にご来場いただき、日頃の演奏活動に協賛していただいているものと、大変心強い思いをしました。

最近では敬老会のアトラクションとしても、多方面から演奏依頼をいただくようになり、その都度3~8人のチームを編成し出向いております。9月末には、橋爪地区の敬老会からお声が掛かり、4人編成で演奏させていただきました。懐メロのハーモニカ



祝 橋爪地区敬老会

練習日 第一または第二土曜日は、友部社会福祉会館 第三土曜日は、友部公民館



笠間芸術の森公園 (11月3日)

皆様のご協力に感謝!!

福祉バザー売上金

10/21	岩間支部	202,030 円
11/3	笠間支部	151,860 円
12/3	友部支部	336,528 円

※益金は地域福祉活動費として活用させていただきます。

福祉バザー

平成29年度
ボランティア連絡協議会

10月21日(土) 毎年恒例の岩間ボランティア連絡協議会主催による福祉バザーが岩間保健センターで開催されました。朝早くからボランティア約80人が集まり、各売り場の準備に大忙しでした。
あいにくの雨でしたが、9時の販売前から「販売開始はまだか」とお客さんが玄関前に待っていておりました。販売開始と同時に各売り場に向かい、売り子のボランティアと会話を弾ませ気になった品物を購入していただきました。
雨の中の開催でしたが、ボランティアと地域住民の交流がはかれ、福祉バザーは盛況に終わることができました。

10/21 岩間

11月3日(金) 笠間芸術の森公園において、笠間市ボランティア連絡協議会笠間支部の福祉バザーを開催しました。今回もJA常陸のご協力により「第13回JAふれあい祭り」に併せて実施しました。
当日は天気恵まれ、小春日和の中実施することができました。また早朝から多くの方々にお越しいただき、会場には長蛇の列ができるほどでした。
今回バザー用品を寄付してくださりました方々に感謝するとともに、この益金はボランティア活動の充実・発展のために活用させていただきます。

11/3 笠間

友部地区福祉バザーは例年「ふるさとまつりinかさま」に、友部公民館広場で10月22日(日)に開催する予定でしたが、台風の影響で中止となりました。
あらためて12月3日(日)、支部社協と、ボランティア連絡協議会が、合同で社会福祉会館玄関前駐車場福祉バザーを行いました。
当日は晴れて暖かく、早々からテントの回りは人だかりとなり、売り子として参加のボランティアさんも、大いに張りきり、元気な声が広場に響き渡りました。
皆様ご協力ありがとうございました。

12/3 友部

ボランティアセンターだより

住みよいまち づくりを目指して

「第一火曜日の会」は、笠間支所で「紙芝居鑑賞と貼り絵作り」を、岩間保健センターで「いわまの伝え話とスクエアステップ」を、友部本所で「口紅の力」を、それぞれ魅力のある充実した内容で実施できました。
笠間市ボランティア研修会は、震災復興への想いを語り、音楽でつむぐコンサートになり、多くの参加者を得て、盛大に開催できました。
岩間・笠間・友部地区は、それぞれの地内で「福祉バザー」を開催し、盛況のうちに終わりました。

第一火曜日の会

紙芝居鑑賞と貼り絵作り 6人参加

社協笠間支所で紙芝居「いろは」のボランティア3人が、笠間出身の山下りんさん(宗画家)の足跡を紙芝居で演じてくれました。
その後「かぐや姫」の一場面を貼り絵で作り、裏面の文章も読み合わせ、紙芝居の気分を味わうことができました。



10/3 「いわまの伝え話」と「スクエアステップ」 17人参加

岩間保健センターの集會室で「めだかクラブ」の語り(愛宕山の十三天狗)を聞いて、私も空を飛んで移動した気分

になりました。その後「ききみみずきん」の物語を聞きながら絵巻物の背景と、人形達の動きにどっぷりと浸りました。
難しいと思っていたスクエアステップも、楽しくて身も心も軽くなりました。
(参加者 K)



11/7 スクエアステップ「口紅の力」セミナー 20人参加

友部社会福祉会館で「口紅の力」セミナーに参加させていただきました。女性であり、美しさをもとめているのだなあと感じました。
東日本大震災の際に、女性に「口紅」をさしたことで、華やかな表情になった経験から生まれたセミナーということでした。
被災地で元気がなかった女性達をメイクで励ます、女性



講師 岩本 高明氏
メイ・ウシヤマSBM研修所所長
三野原 敦子氏
「口紅の力」チーフインストラクター
(伊勢山)

お知らせ
前号(33号)でお知らせしました12月5日(火)の「まゆ玉・干支(戌)づくり」は、平成30年1月9日(火)に変更となりました。

平成29年度 笠間市ボランティア研修会
東日本大震災復興への想いを語り音楽でつむぐコンサート
ボランティア連絡協議会 副会長 深谷 敏知
11月16日(木)笠間公民館にて笠間市ボランティア連絡協議会の「笠間市ボランティア研修会」が開催され280人が参加しました。
震災復興への強い思いで活動されている「NPO法人ポルターモ」の皆さんのお力をお借りして、語り音楽でつむぐコンサートとなりました。
クラシックコンサートでは乾杯の歌をはじめ、すばらしい歌声を聴かせていただき、心が澄んで行く想いを抱かれました。また、ピアノやフルートの演奏には身体の中のリズムを呼び起こされ、聴き入る耳元がステージに引き寄せられる想いでした。
演奏と歌声と踊りのステージは踊り手の指先からフロアー全体にも復興への心の表情を感じさせられました。
それぞれの歌声に、また語りの中の様々な言葉に、そして心を込めた口調に何度も心を動かされました。
そしてボランティア活動の中で、仲間と自分自身のしぐさの中で、「つむぐ」事への意識と続ける事の大切さをあらためて認識致しました。



ポルターモの皆さんと一緒に

「第一火曜日の会」これからの予定

H30 1/9 (火)	「まゆ玉・干支(戌)づくり」	9:30~11:30	社協笠間支所
2/6 (火)	「地域交流センターいわま」見学会	9:30~11:30	地域交流センターいわま(下郷4438-7)
3/6 (火)	「小さなピンでかわいい生花」	9:30~11:30	友部社会福祉会館2階

問い合わせ 笠間市社会福祉協議会ボランティアセンター TEL 0296-78-2626

詳しくは広報がさま お知らせ版をご覧ください。





善意の寄附を「ありがとう」

(善意銀行預託)



平成29年7月1日～平成29年11月30日まで(順不同・敬称略)

物 品

エコキャップ、使用済み切手等

- (有)笠間給食センター 従業員一同
- ありんこ
- イチカワユニオン岩間支部
- いなだこども園
- いわま保育園
- おしのべ保育園
- ガールスカウト茨城県第30団
- くるす保育所
- ケアハウス悠
- こころの医療センター デイケア
- こじか幼稚園
- コロナの会 手芸愛好会
- さくら幼稚園
- すみれこども園
- ともべ保育所
- ともべ幼稚園
- なかよし学童保育の会 みなみ学園
- 児童クラブ
- ナブコシステム(株) 茨城支店
- ポーターハウス
- みか保育園
- めぐみこども園
- レイス治療院
- 愛の里
- 旭化成メタルズ(株)
- 旭台睦会
- 稲田小児童クラブ
- 茨城県信用組合 笠間支店
- 岡本興業(株)
- 岡野 けいこ
- 額田 義文

- 笠間工芸の丘
- 笠間市ゲートボール連合会
- 笠間市笠間地区民生児童委員協議会
- 笠間市役所農政課
- 友部小学校児童会
- 笠間陽だまり館
- 株式会社 DCL
- (株)常陸溶接工業所
- 岩間第一小学校
- 岩間第一小学校児童クラブ
- 吉田 清春
- 金澤 百花
- 県立中央病院(施設課・消毒室・リネン室)
- 紺屋精肉店
- 山中 としい
- 山田 こう
- 児山 甚子
- 持丸 一幸
- 穴戸小学校児童クラブ
- 小滝 みどり
- 石原 義雄
- 泰米電器株式会社
- 大原小児童クラブ(ポプラの会)
- 大沢保育園
- 池野辺子供会
- 電化サロンカワチ 河内 久子
- 渡邊 節子 他数名
- 入澤法律事務所
- 不二製油(株)関東工場
- 友部フリーマーケット実行委員会
- 友部自動車学校
- 友部第二中学校 JRC委員会
- 友部郵便局

(有)伊藤石材工業
匿名

日用品等

- こうゆう会 姫殿会
- 稲田中学校 勝山 真美・中野 愛莉紗
- 大熊 綾子

タオル等

- 茨城県退職公務員連盟笠西支部笠間分会
- 茨城県退職公務員連盟笠西支部岩間分会
- 茨城県退職公務員連盟笠西支部友部分会

食品等

- 笠間市農業委員会
- 匿名

金 銭

- ありがとう感謝チャリティーコンサート ￥28,888
- おかみさん会 ￥5,601
- K・S・ベーシック ￥2,900
- (有)笠間給食センター 従業員一同 ￥16,931
- 秋谷 憲一 ￥2,000
- MGM友部店 ￥60,000
- コロナの会 手芸愛好会 ￥10,000
- 渡邊 節子他数名 ￥5,000
- 阿亀親睦ゴルフコンペ ￥42,424
- 佐藤 幸寿 ￥5,000
- 笠間市チャリティーゴルフ大会実行委員会 ￥199,296
- 望月 三郎 ￥10,000
- ニューサウンズオーケストラ ￥30,000
- 笠間市あすなろ友の会 ￥7,596
- 匿名 ￥1,937,841

平成29年度 心配ごと相談所開設日程表

日常のお困りごとなど何でもご相談ください(無料・秘密保持)
時間: 13:00 ~ 16:00 (受付は 15:30 までをお願いします)

	笠間支所 (毎週火曜日)	本 所 (毎週水曜日)	岩間支所 (毎週木曜日)
場所	社協笠間支所	友部社会福祉会館	岩間保健センター
1月	9日・16日・23日・30日	10日・24日・31日	11日・18日・25日
2月	6日・13日・20日・27日	7日・14日・21日・28日	1日・8日・15日・22日
3月	6日・13日・20日・27日	7日・14日・28日	1日・8日・15日・22日・29日

法律相談 ※法律相談ご希望のかたは、事前に心配ごと相談所での相談をお願いします。

笠間支所	本 所	岩間支所
第3金曜日 10:00 ~ 12:00 (3月は第4金曜日)	第1金曜日 10:00 ~ 12:00	第2金曜日 10:00 ~ 12:00

お問い合わせ先

社会福祉法人 笠間市社会福祉協議会

本 所 TEL 0296-77-0730 FAX 0296-78-3933
 笠間支所 TEL 0296-73-0084 FAX 0296-72-3722
 岩間支所 TEL 0299-45-7889 FAX 0299-45-6250

編集後記

地域のOさんから引き継いだ広報委員の仕事。5年が経ちました。年3回の発行で、事務局、先輩広報委員の方々に助けられ、みんなでかんかんがくがく議論して作った広報誌。皆さんの、少しでもお役に立てれば幸いです。子どもは独立、夫婦2人だけの年金生活。親もじくになり、故郷に無人の実家。空気入れ替えに帰る小旅行が楽しみ。おかげさまで、たくさんの方のご縁をいただき、退職

後の生活が充実しています。6歳と4歳の女児を育てている息子の連れ合いの言葉から。「子どもたちのかけがえのない幼児期をお預かりしているので、そのことに感謝しながら毎日すごしています。今日も、大事な一日が無事にすごせて良かったです」

江戸時代後期の禅僧、仙厓和尚の『老人六歌仙』。「手はふるう 足はよろつく 歯は抜ける 耳は聞こえず 目はうとくなる」納得

人生の終着点に向かって日々進行中。ああ今日も良い一日だった。感謝感謝 (藤森)